



鳥羽高校グラウンドで、1月3日、「第7回新春凧あげ大会」が開催され、親子連れなど約200人が参加して、凧あげを楽しみました。

新春の青空に、かもめや金魚、立体のものなど、さまざまな形の凧が舞い、訪れたかたがたの目を楽しませていました。また、ぜんざいの振る舞いやくじ引き大会も行われ、会場は大いに盛り上がっていました。

新春の空を舞う、色とりどりの凧



1月15日、新鳥羽小学校のしゅん工式が行われ、児童や地域のかた、工事関係者など約300人が出席し、校舎と体育館の完成を祝いました。

式では、全校児童による校歌斉唱の後、市長が「明るく素晴らしい環境の学校ができました。これからも一生懸命勉強してください」とあいさつし、児童会長の岩橋佐和さん(小6)が「待ちに待った校舎ができました。広々とした教室は日当たりもよく、暖かいです。本当にありがとうございました」とお礼を述べました。

3月末にはプールも完成し、すべての工事が完了する予定です。

待ちに待った学校ができました

まちの話題 1月号



1月7日、安楽島町の満留山神社で、悪疫退散や大漁、豊作を祈願する弓立神事が行われました。

9人の舞姫による神楽が披露されたあと、4人の射手が弓立てに挑みました。

矢が的に命中すると、神官の太鼓と共に「あたいらー」、外れると「すこいらー」という、独特の掛け声で見物人がはやしたてます。

24本中16本が的に命中し、今年は「大漁と豊作、間違いない」と占われました。

大漁豊作、間違いないし



消防出初め式が1月10日に行われ、消防団員など約150人が参加しました。

市民文化会館で功労者表彰などの式典を行った後、ミキモト真珠島シーサイドパーキング付近から祝賀放水が行われました。

祝賀放水では、消防団員たちがきびきびとした動きで陸から、伊勢湾防災の消防船や鳥羽海上保安庁の巡視艇も海上から参加して一斉に鳥羽湾に放水しました。

見学に来ていた小崎さん親子は、「すごい迫力でした。いろいろな色の放水は、とてもきれいでした」と話してくれました。

陸と海から一斉放水